

ひょうご



みどりの風

2010.9

No.29

(題字 井戸敏三会長)

「確かな未来は 懐かしい風景の中にある」



俳優でコウノトリファンクラブ会長の柳生博さんの言葉です。

2年前、但馬県民局勤務で初めて聞いた時にはいささかその意味を理解しかねていましたが、但馬の人々の活動に触れていると徐々に疑問が氷解してきました。

ここ1世紀ほどの間に私たちは飛躍的に発展する文明の恩恵を享受してきましたが、一方で多くのものを失いました。

私事ですが、およそ五十年前、丹波の家を建て替えるために伐採した山に、祖父や両親と一緒に植林した懐かしい風景は昔話になりました。あの頃は確かに、社会や生活が「循環」していたように思います。

森づくり活動は、水資源の涵養や土砂災害の防止などの森林の公益的活動の向上、持続的社会の実現に役立っていますが、生物多様性の保全にも大きな役割を果たしており、その一つの取り組みが、コウノトリ野生復帰に向けた里山林の整備活動です。

豊岡市ではコウノトリの野生復帰計画に基づき、行政・市民団体等の多様な主体の協働により「田園の自然再生」「里山林の整備」「河川の自然再生」などの取り組みが実施されています。

その中の一つとして里山林においては、かつての営巣地に営巣木を再生したり、「ねぐら」としての環境整備のため、松林の除間伐や「ひょうご元気松」の植栽、林間歩道の整備など、地域住民や森林ボランティアの方々が地元小学生と一緒に取り組んでいただいている。

折しも本年11月13日(土)、14日(日)に、このような取り組みが行われている豊岡市において「環境と経済が共鳴

する森づくり」をテーマに「ひょうご森のまつり2010」(「但馬まるごと感動市」と同時開催)が但馬ドーム周辺を会場として開催されます。皆様のご来場をお待ちしています。

社団法人兵庫県緑化推進協会理事長 谷口 進一(兵庫県農政環境部長)



けびの森クラブ

里山は交流の場

けびの森くらぶ運営委員 岸本 文枝

けびの森くらぶは、H9年4月、地元で開催された自然観察インストラクター養成講座を受講したメンバーによって結成されました。里山を手入れする事により、自然に対する意識や知識の向上を図り、会員相互のコミュニケーションの場を創造し、都市住民と地域の交流の場作りを目的に、県内外の会員でメンバーの所有する、標高630Mの高地にある放ち田を整備する事から始まりました。当時から現在に至るまで、毎月1回の活動日を設けて、くらぶの森づくりを続けてまいりました。

当初、森には雑木が生い茂り、毎回整備に明け暮れ自前の道具しかない状態で作業の大変さを実感させられました。



効利用も出来るようになり、くらぶの活動も充実してまいりました。

H17年地元、相岡に於いて、ひょうご森の祭典が開催され、けびの森くらぶも名を知られるようになりました。他団体との交流や地元中学校のトライやるウイークの受け入れ、環境学習の指導にも携わるようになりました。

H19年には、兵庫県より、ふれあい森づくりの助成を受け、天然林施業でのブナの森づくりを開始。この森は里山として薪等の利用などでかつては手入れされ、美しい景観を保っていましたが、その後利用されず手付かずのままでした、その森に自生していたブナを守りかつての里山をブナの森として再生して行こうと、このフィールドでの活動が始まりました。地元小学3

年生の環境学習にも、この森での体験活動が行われています。こどもたちがこの森で活動することで、森の豊かさにふれ、自分の住んでいる地域を思い、育っている環境を見直す目をもってもらうきっかけになればと思い、これからも、地道な活動をつづけてまいります。



そうする中、(社)兵庫県緑化推進協会の助成を受け作業機具の設備が出来、地元子ども会や各種団体の受け入れでブナの植樹会を開催。その後も下草刈の作業にも参加してもらいようやく、植樹したブナの木も草に負けない大きさに成長してまいりました。広葉樹の人工林施業の難しさを感じつつ毎回草との戦いです。

将来このブナがたくさんの実を付け、森の動物たちの餌場になることを夢見つつ、遙か山並みを眺めながら活動を続けています。

また、H11年には、地元の炭焼き職人の方に指導を受けて、白炭の炭窯を造り、里山整備で出来る間伐材の有



けびの森くらぶ (<http://homepage3.nifty.com/yamahiro/kebi/kebi.html>) には、平成22年5月、全国植樹祭(神奈川県)において緑化功労者として国土緑化推進機構会長賞を受賞されました。(談)



企業の森づくり活動

・シリーズ②・

この春、兵庫県では関西電力労働組合と富士ゼロックス兵庫の2つの団体・企業が森づくり活動を始めました。また、兵庫県で企業の森づくり活動を実施している企業の実務担当者が集まって、活動の進め方、担当者としての課題などを共有する意見交換会を開催しました。

さらに、生物多様性保全という大きな環境テーマのもとに、企業と市民が森づくり活動でどのように協働するかを提言するフォーラムを開催しました。

この秋のCOP10を控えて、企業の森づくりへの関心はますます高まっています。

<意見交換会の状況：4月22日(木)開催>

企業の森づくりはまだ始まったばかりです。したがって各社の担当者の方々は様々な課題に取り組んでいます。他社の状況を知って、自社の活動を見直すための大変有効な集まりとなりました。



<森づくりフォーラム「市民と企業、これからの森づくりー参画の多様性と生物多様性ー」：6月4日(金)開催>

最初に関西電力労働組合、富士ゼロックス兵庫の森づくり協定式が行われ、その後、人と自然の博物館の服部保先生の基調講演、コープこうべ(こども環境活動支援協会)、日本触媒(ひょうご森の俱楽部)の2つの企業、市民団体の協働による森づくり活動の取り組みが発表され、参加者の関心を集めました。



<森開きの状況>

(関西電力労働組合)

- ・5月8日(土)
- ・三木市細川町・グリーンピア三木(1ha)



(富士ゼロックス兵庫)

- ・5月30日(日)
- ・神戸市北区神付の里山(1ha)



「ひょうご森のまつり2010」のご案内

11月13日(土)、14日(日)に豊岡市日高町名色で「ひょうご森のまつり2010」を開催します。

森や緑は、生命の源である水や空気の浄化・供給などに欠かせない「県民共通の財産」です。

県民総参加の森づくりをめざし、森に親しみ、森を育てる大切さを感じてください。

1 日 時 平成22年 11月13日(土)～14日(日) 10:00～16:00

但馬まるごと感動市が同時開催されます。

2 場 所 県立但馬ドーム周辺(豊岡市日高町名色)

3 主な行事

(1)会 場

○式 典：表彰、緑の少年団宣誓、キジの放鳥

○ステージ：森の音楽会、チェーンソー アート大会、
丸太切り大会など

○イベント：緑化作品コンクール展示、バイオマстаун展、
森林ボランティア交流サロン、森林・林業展示、
県産木材製品の展示、企業の森づくりの紹介、
災害に強い森づくりの紹介、木工クラフトなど



(2)周辺里山林

○里山整備体験、神鍋山ウォーキングなど



県下の緑化推進委員会を訪ねて

小野市緑化推進委員会をたずねて

小野市緑化推進委員会は、平成9年に設立されました。事務局を市産業課内に置き、自治会及び地元企業の協力で家庭募金及び企業募金を中心に緑化推進活動を実施しています。具体的には、緑の募金を活用して、緑化資材を市内の各自治会や企業に配布する等、地域住民の手による緑化活動の応援に取り組んでいます。また本年は、「全国ハーブサミット小野大会(5月)」、「かわい快適の森里山フェスタ(11月)」で緑の少年団による募金活動及び里山ハイキングを実施する予定となっています。



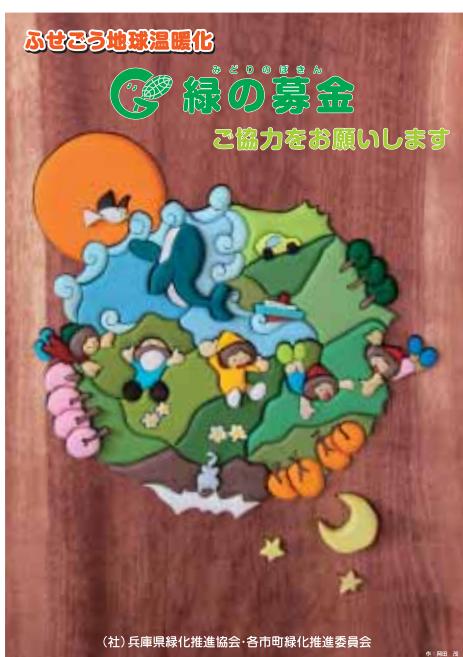
全国ハーブサミット小野大会での募金活動



地域公民館での緑化活動



「緑の募金」にご協力をお願いします



(社)兵庫県緑化推進協会・各市町緑化推進委員会

森や緑は私たちの暮らしに限りない恵みをもたらし、豊かな地球環境を残してくれています。

このかけがえのない森と緑を守り育てていくために、「緑の募金」として家庭募金、学校募金、職場募金、街頭募金、団体募金、企業募金を県下各地域で行っています。

ご寄付の方法

ご協力いただく募金は、金額の多少を問わず次の金融機関へ振込をお願いします。

● 郵便払込

(社)兵庫県緑化推進協会の「払込取扱票」を使用してください。(払込料金は無料)

● 銀行振込

口座：三井住友銀行兵庫県庁出張所
普通 3198438 (振込手数料が必要)
名義：社団法人 兵庫県緑化推進協会

募金の期間

春 3月1日～5月31日

秋 9月1日～10月31日

(社)兵庫県緑化推進協会
TEL 078(341)4070

〒650-0012
神戸市中央区北長狭通5丁目5-18
FAX 078(341)4071